

第1回川崎地区PDNセミナー・アンケート結果

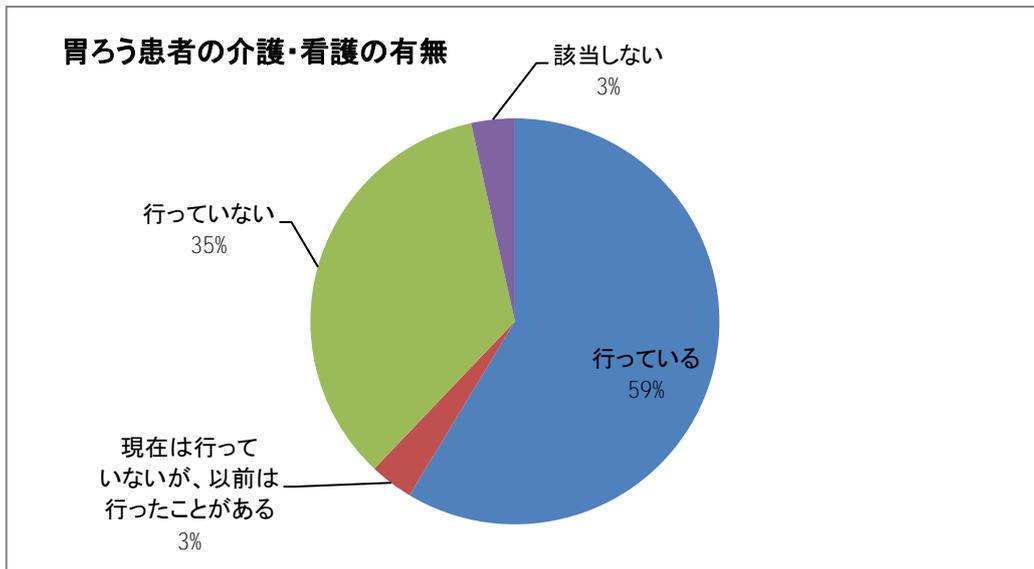
平成23年2月22日

I. 参加者のプロフィール

■所属先の所在地

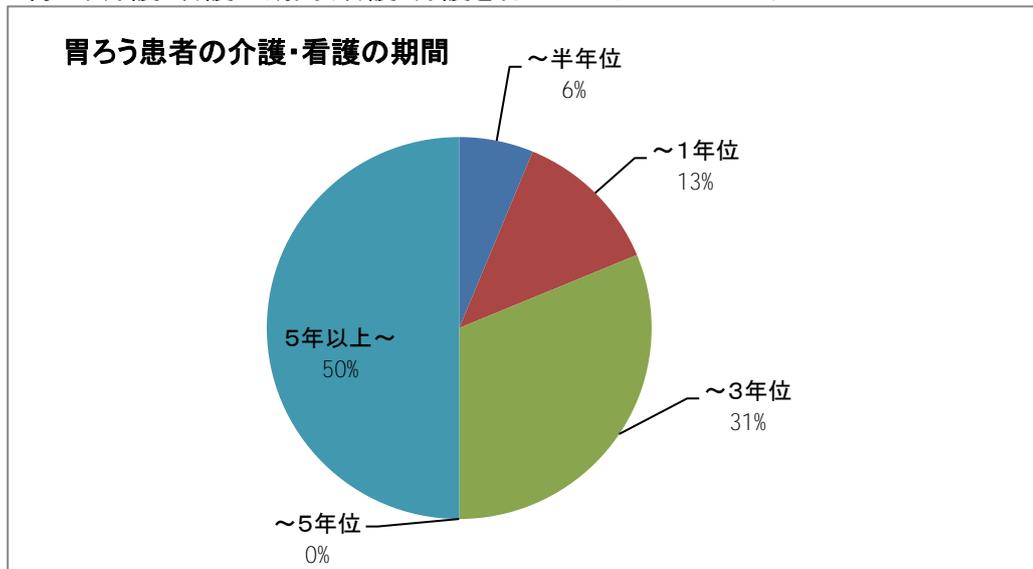
市、郡	川崎市	横浜市	茅ヶ崎市	その他	合計
人数	25	4	1	10	40
%	62.5%	10.0%	2.5%	25.0%	

■胃ろう患者の介護・看護の有無(医師以外の参加者について)



N=29

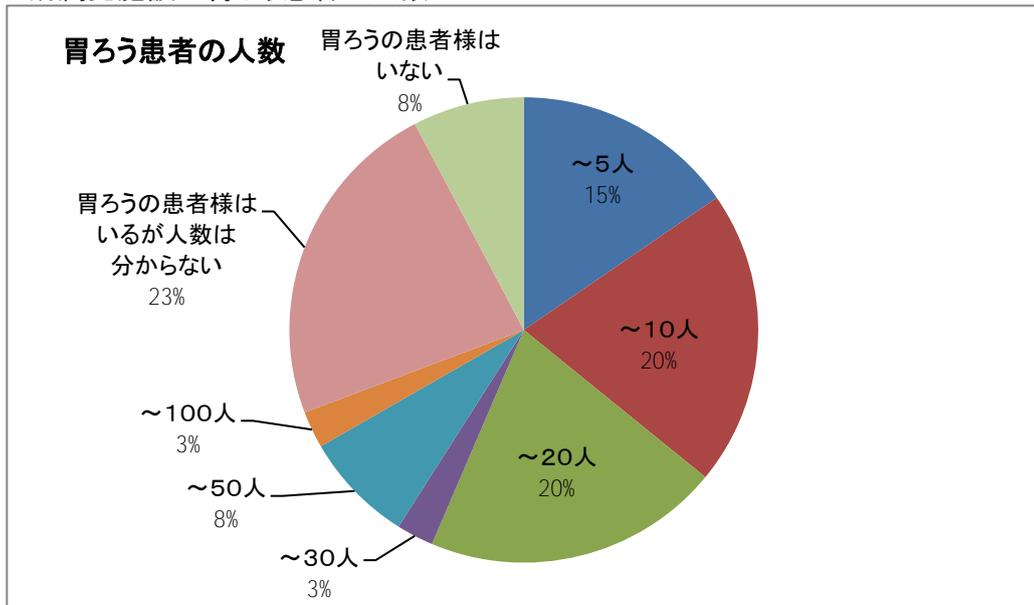
■胃ろう介護・看護の期間(看護・介護を行っている人について)



N=16

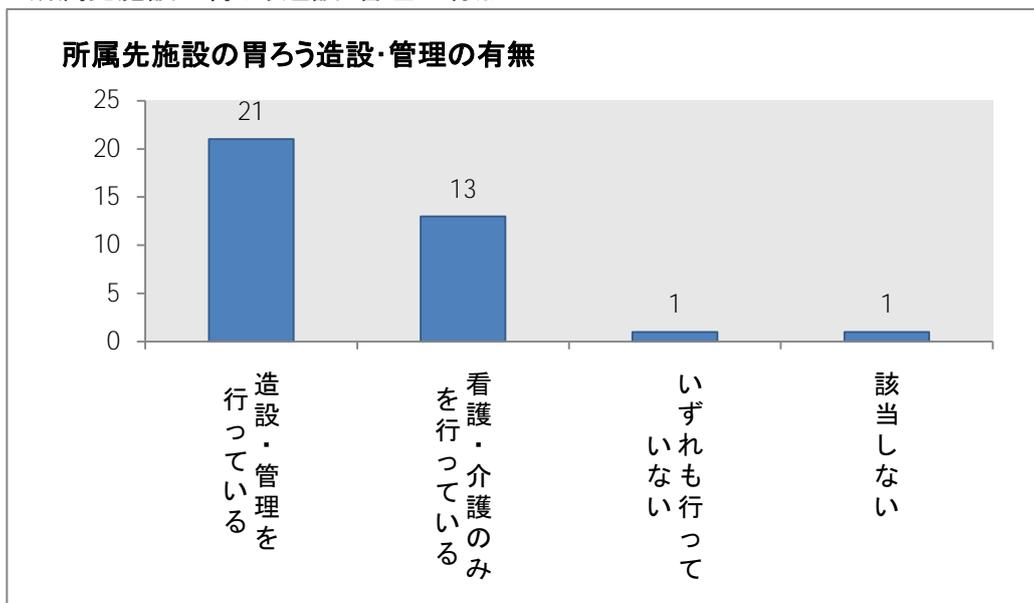
II. 所属先施設の胃ろうの現状

■ 所属先施設の胃ろう患者の人数



N=39

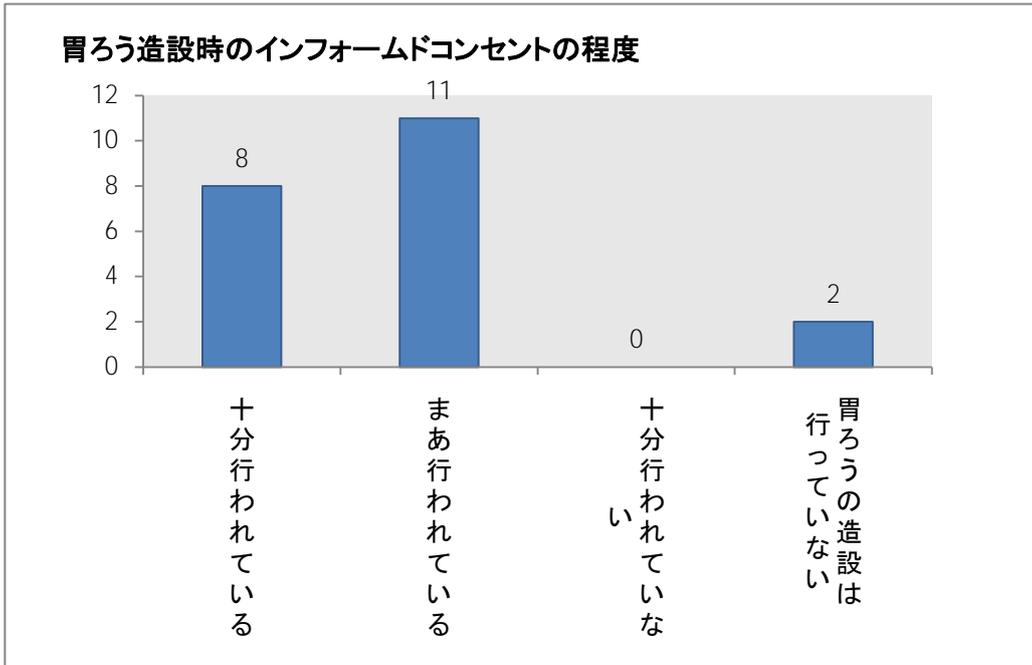
■ 所属先施設の胃ろう造設・管理の有無



N=36

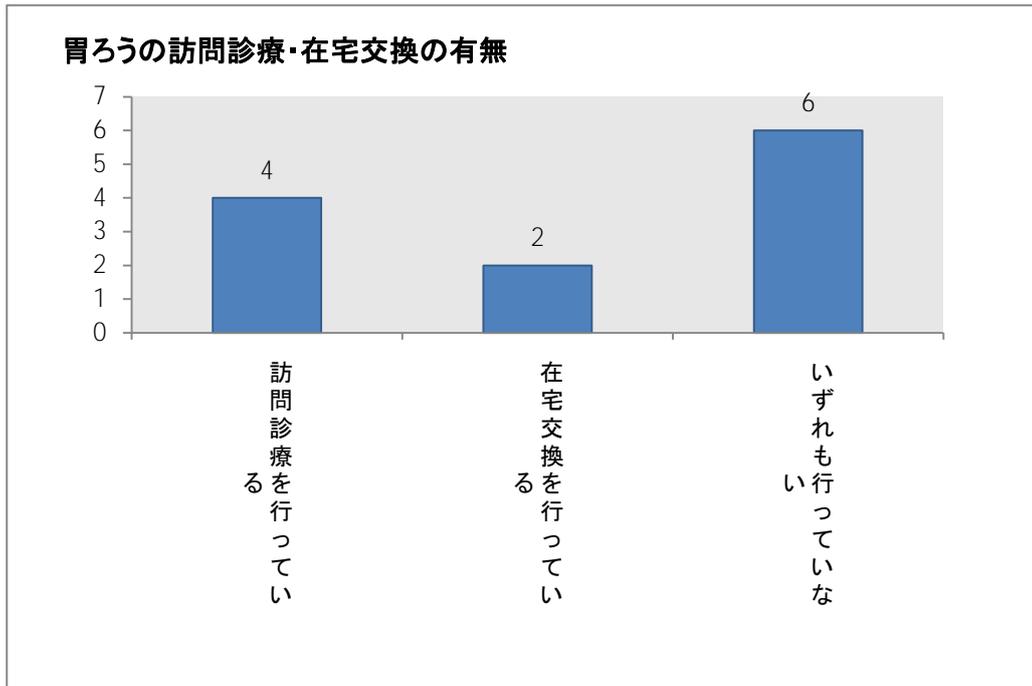
■ 胃ろう造設時のインフォームドコンセントの程度

(所属先が胃ろうの造設・管理を行っている参加者について)



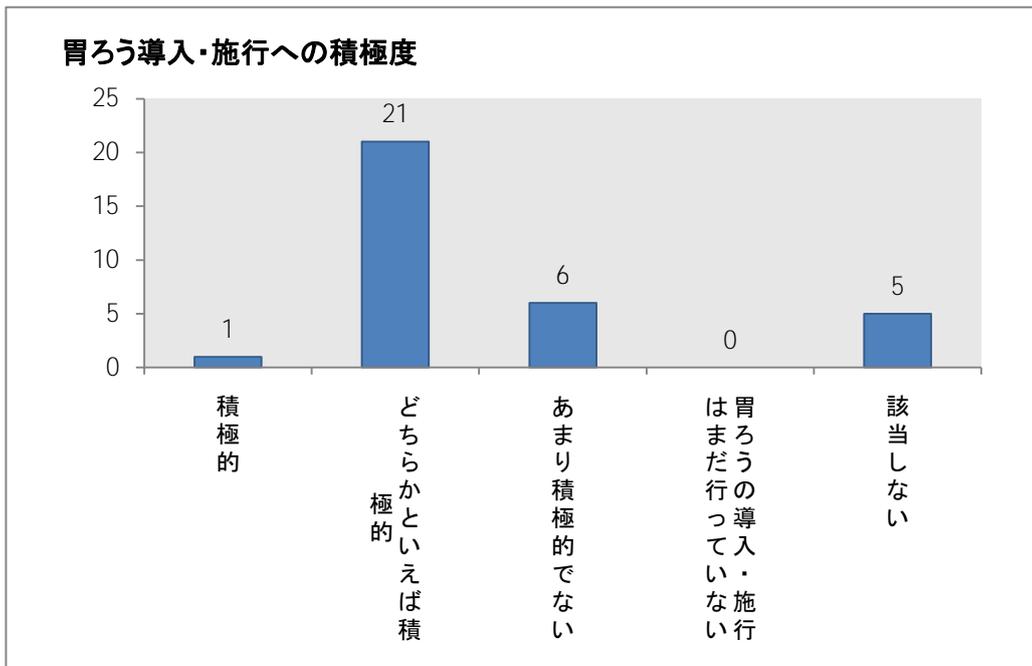
N=21

■ 所属先施設の胃ろうの訪問診療・在宅交換の有無



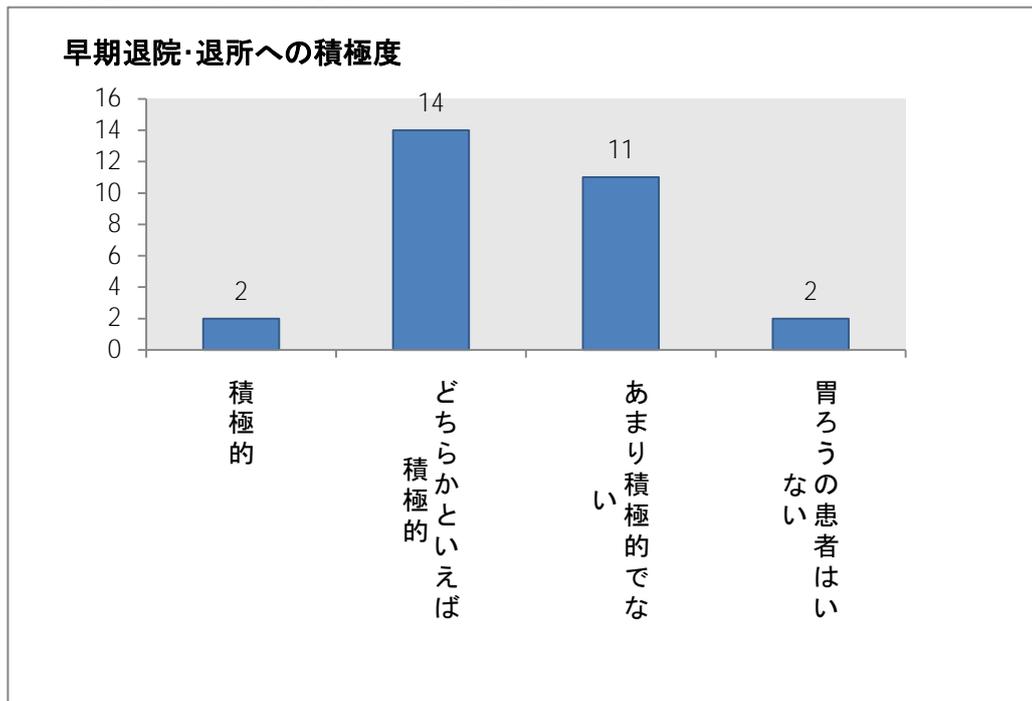
N=12

■所属先施設の胃ろう導入・施行への積極度



N=33

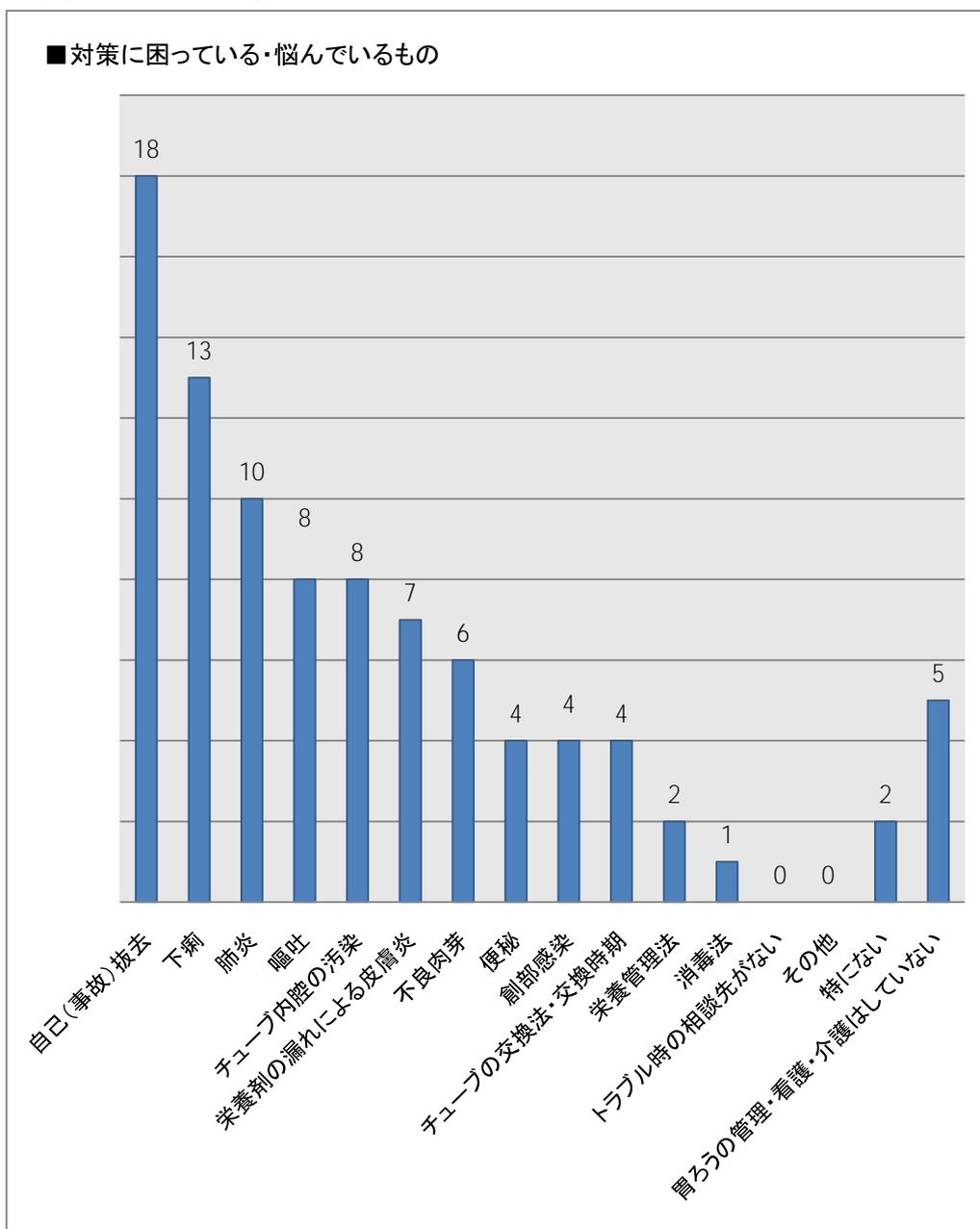
■所属先施設の早期退院・退所への積極度



N=29

Ⅲ. 胃ろうの管理・看護・介護の中で、対策に困っている・悩んでいるもの(複数回答可)

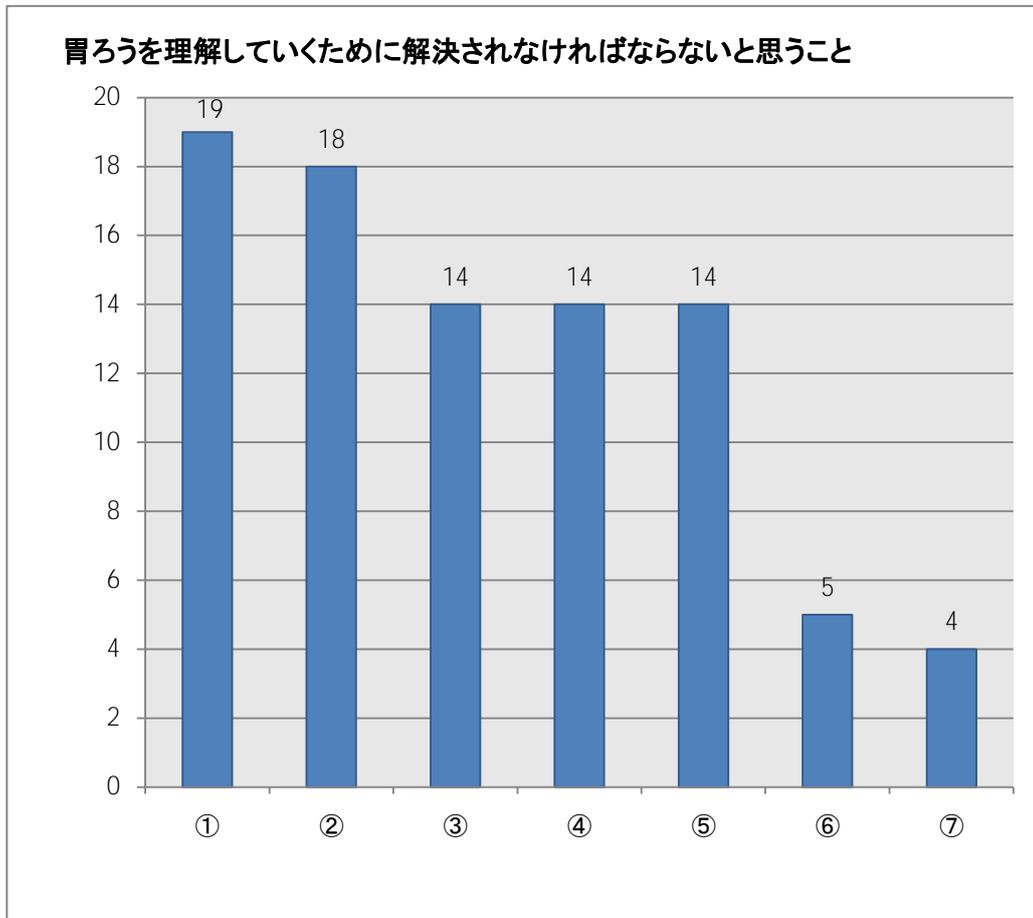
■対策に困っている・悩んでいるもの



IV. 胃ろうをもっと理解していくために、解決されなければならないと思うこと。

(3つだけあげてもらった複数回答)

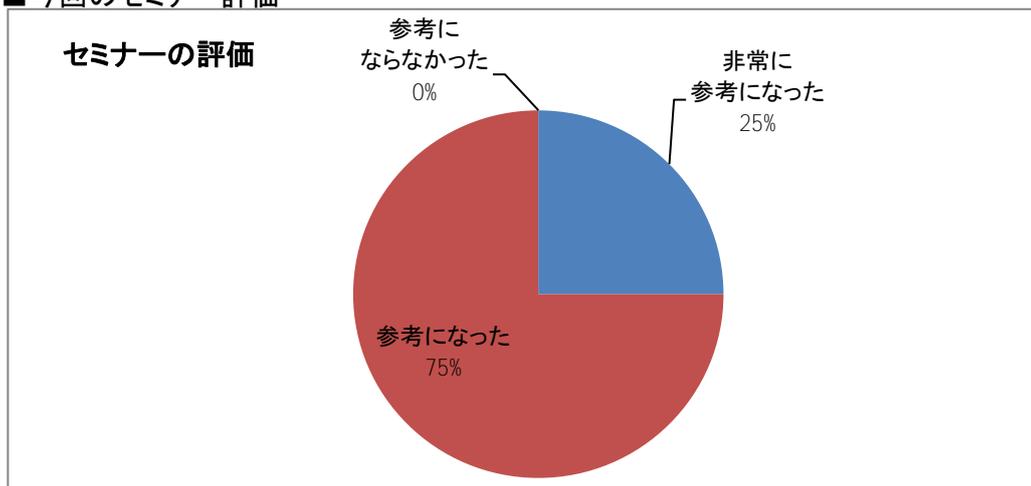
■ 胃ろうを理解していくために解決されなければならないと思うこと



①	食べられなくなれば即胃ろうというのではなく、胃ろう本来の「役割」をいま一度考え直してみること。	19
②	胃ろうについての勉強会の充実。(胃ろうの栄養・嚥下についての知識の向上、NSTや在宅管理についての勉強会など)	18
③	一般の人々や病院関係者に正しい理解を持ってもらうためのPR活動の充実	14
④	胃ろうの手技・管理の標準化。(手技の安全かつ確実な施行、合併症の発生予防、発生後の対処方法、術後ケアなどの標準化)	14
⑤	造設、管理、看護、介護の全般にわたる院内連携や地域連携の確立。	14
⑥	専門医や専門看護師の育成。(造設医の資格化、トラブルに対応できる専門機関の設立、コメディカルの育成など)	5
⑦	胃ろうの適応、危険度を示す疾患・状態別のガイドラインの作成。	4

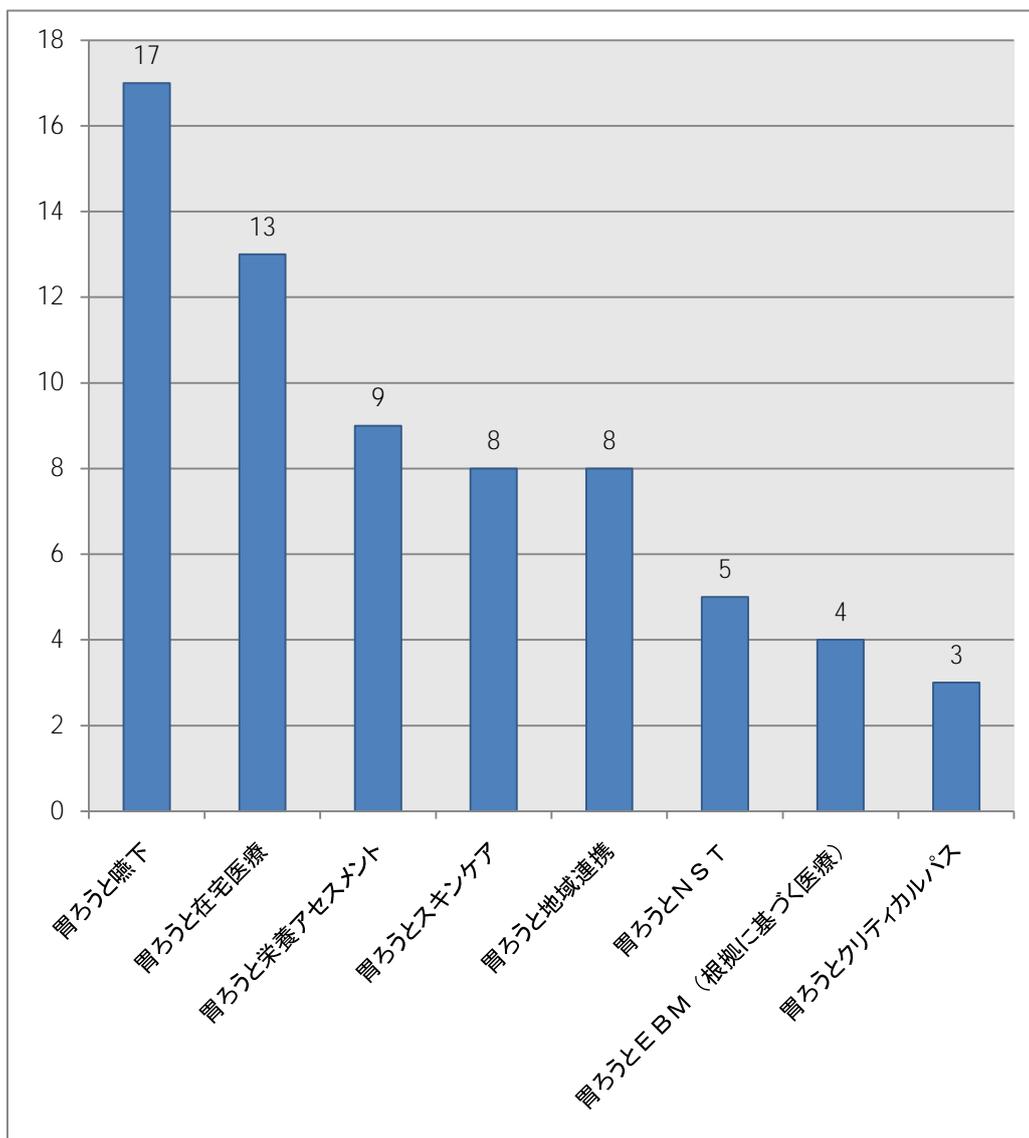
V. 今回のセミナーの評価と、今後のセミナーの希望テーマ

■ 今回のセミナー評価



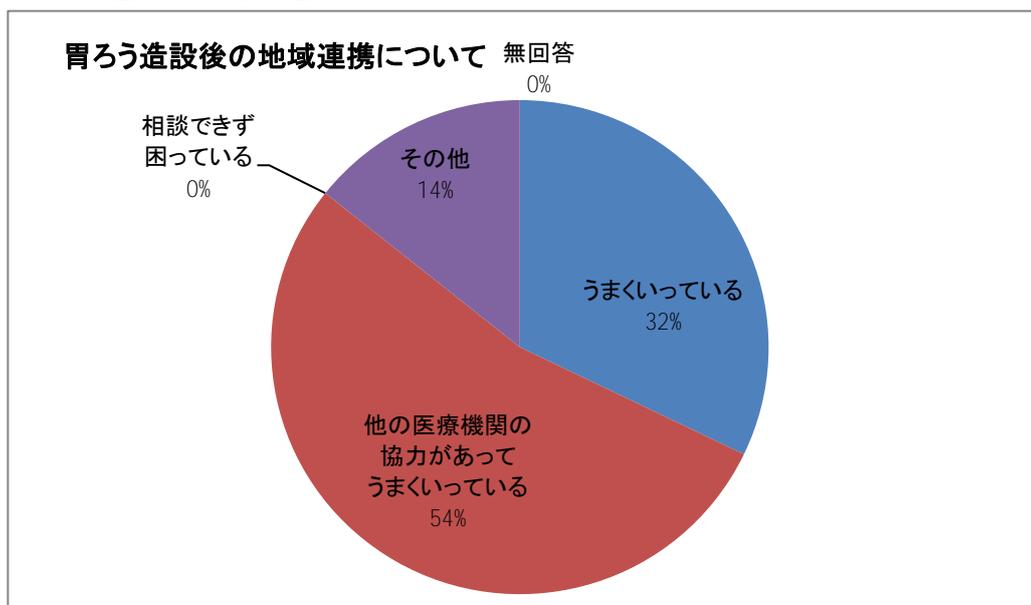
N=32

■ 今後のセミナーの希望テーマ。(複数回答)



VI. 地域連携について

■ 胃ろう造設後の地域連携について



その他：情報が少ない場合が多い。
造設と管理の医療機関の連携がうまくいっていないように感じる。
該当しない。

VII. 自由回答意見

問. 胃ろうの理解やPDNセミナーについて、どのようなことでも結構です。
忌憚のないご意見をお聞かせください。

- ・ 今後も機会があれば参加したいと思います。
- ・ また、このようなセミナー新しい情報があれば開催してほしいです。
- ・ 胃ろうの薬剤師はどのようなポジションでかかわればよいのでしょうか。
- ・ 胃ろう造設後は経口栄養摂取が不可能だと思い胃ろうのみになるので不可能ですか？
- ・ 口腔リハビリや嚥下状態を観察しながら経口摂取が出来るようにして良いのですか？